

履修方法について

I. 2010～2013年度入学者の履修上の通則

系 列	修得すべき 単位数	履修内容
総合教育科目	12単位	商学部の学生が専門知識だけでなく、バランスの取れた学識を身に付けることを目的として設置された科目。 総合教育科目および総合教育科目演習から選択履修しなければならない。
外国語科目	24単位	商学部の学生がグローバル化する社会に対応できる能力を高め、異文化への理解を深めることを目的に設置された科目。 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、朝鮮語の中から2つの外国語を選択履修しなければならない。外国語Ⅲの履修については、外国語Ⅱまでに履修した2つの外国語の両方またはいずれかで計8単位を選択履修しなければならない。(※1)
専門基礎科目	12単位	商学部の学生がそれぞれ選択するコースの学習を系統的に行うための基礎学力を修得することを目的に設置された科目。 基礎数学、基礎会計学、基礎経済学の3科目(各4単位)を必修とする。
専門教育科目	64単位	商学部の学生としてふさわしい専門知識を身に付けることを目的に設置された科目。 自己が所属するコースから16単位以上(専門教育科目演習と論文を除く)を履修するとともに、他の3コースおよび「総合・学際科目群」からそれぞれ最低4単位以上を履修しなければならない。
共通選択科目	20単位	上記の4つの科目系列の中から「修得すべき単位数」を超えて修得した単位、または商学部以外の他箇所・他機関が設置する科目の履修により修得した単位(※2)が該当する。
合計	132単位	

(※1) 修得すべき外国語科目は、外国語Ⅰから8単位、外国語Ⅱから8単位、外国語Ⅲから8単位とします。

(※2) 他箇所・他機関が設置する科目には卒業に必要な単位として算入できる上限があります。

II. 2014年度以降入学者の履修上の通則

系 列	修得すべき 単位数	履修内容	
総合教育科目	12単位	商学部の学生が専門知識だけでなく、バランスの取れた学識を身に付けることを目的として設置された科目。 総合教育科目、総合教育科目演習から選択履修しなければならない。	
外国語科目	20単位	商学部の学生がグローバル化する社会に対応できる能力を高め、異文化への理解を深めることを目的に設置された科目。 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語の中から2つの外国語を選択履修しなければならない。(※3)	
専門基礎科目	必修	16単位	商学部の学生がそれぞれ選択するトラックの学習を体系的に行うための基礎学力を修得することを目的に設置された科目。
	選択必修	24単位	基礎数学、基礎会計学、基礎経済学の3科目(各4単位)、ビジネス法入門(2単位)、さらに統計リテラシー $\alpha \cdot \beta$ (各1単位)を履修しなければならない。(※4)
	小計	40単位	経営学、財務会計論、管理会計論、マーケティング論、国際貿易論、金融入門、保険論、ミクロ経済学、マクロ経済学、基礎統計学の中から6つを選択履修しなければならない。
専門教育科目	トラック	28単位	自己が所属するトラックが指定する科目の中から28単位以上(専門教育科目演習と論文も含む)を履修しなければならない。
	総合学際科目分野	2単位	商学部の学生としてふさわしい専門知識を身に付けることを目的に設置された科目。 総合学際科目分野から選択履修しなければならない。
	外国語専門科目分野	2単位	外国語専門科目分野から選択履修しなければならない。
	小計	36単位	上記3つの修得すべき単位を超えた4単位以上を含む計36単位以上を専門教育科目から履修しなければならない。
共通選択科目	16単位	1年次に自動登録される「学術的文章の作成(1単位)」のほか、上記の4つの科目系列の中から「修得すべき単位数」を超えて修得した単位、および商学部以外の他箇所・他機関が設置する科目の履修により修得した単位(注5)が該当する。	
合計	124単位		

(※3) 修得すべき外国語科目は、外国語Ⅰから8単位、外国語Ⅱから12単位とします。指定された各必修科目のほか、外国語Ⅱ選択科目において選択言語ごとに最低2単位以上修得する必要があります。朝鮮語選択者は、グローバルエデュケーションセンター設置科目を履修します。

(※4) 「統計リテラシー $\alpha \cdot \beta$ 」はグローバルエデュケーションセンター設置科目。

(※5) 「学術的文章の作成」はグローバルエデュケーションセンター設置科目。なお、他箇所・他機関が設置する科目には卒業に必要な単位として算入できる上限があります。